

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (東海)	良く なっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・客の買上点数が増えている。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・式年遷宮が本番を迎え、にぎわっている。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・当地は式年遷宮の関連行事が続いており、全国から前年に比べ約20%多い客が来訪してにぎわっている。
	やや良く なっている	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・お盆休みで家族連れが観光地に出掛けるため、例年8月は来客数が少ないが、今年は当地へ観光に来る人が多いのか、来客数が多く忙しい毎日である。
		百貨店（経営企画担当）	お客様の様子	・7月は衣料品が苦戦したが、8月は猛暑により夏物衣料が好調に推移している。また、高額商品がここ数か月では顕著な伸びを示している。
		百貨店（販売担当）	単価の動き	・例年のボーナス時期よりも購買意欲の高まりと客単価の上昇を感じている。円安に伴う大手自動車メーカー系企業の好業績が、大いに関係している。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・サラリーマン世帯で、長い夏休みを取って家族と国内外へ旅行する人が増えている。8月の景気は、レジャー関係の伸びなど全体的には良くなってきているが、電気、ガソリンなどのエネルギーや野菜、果物の値上がりで消費は思ったほど伸びていない。夏の暑さで高齢者は外出を控え、店や病院へ行く人が減っている。金の使い道のない高齢者で、余った分を孫達の教育や生活の支援に回す人がいる。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・お盆セール期間の1週間は、売上が対前年比で108%と好調であった。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・暑さが続いているために、来客数、売上点数ともに、やや良くなっている。暑さが一段落した時にどうなるかが心配である。
		衣料品専門店（販売企画担当）	販売量の動き	・一部の高額商品の動きが良くなっている。
		家電量販店（店員）	来客数の動き	・暑さのため夏物関係の商品が売れている。
		家電量販店（店員）	単価の動き	・リフォームや太陽光発電への関心が高くなってきている。前年に比べ単価が良くなる一方で来客数が減少している状況には、依然として変わりがない。
		乗用車販売店（営業担当）	お客様の様子	・自動車1台あたりの単価の動きが、3か月前より良くなっている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・ここ最近の購買需要は活発である。今月はお盆休みがあったが、その前後の来客数も多く例年よりも販売量が増えている。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・ユーザーはガソリン価格の高騰にも慣れたようで、必要な整備は実施してもらえるようになってきている。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・業務用車両の需要が少し動きだしている。趣味性の高い自動車も動いているが、業務用車両が売れるようになったということは良い傾向である。
		住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・消費税増税に伴う駆け込み需要で、持ち家住宅や分譲マンションが堅調である。また、個人のリフォーム工事も増えている。民間工事、公共工事ともにしばらく落ち着いたいたので動きが出始めている。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	お客様の様子	・下見の客からも具体的な質問が増えており、購入意欲が感じられる。
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・宿泊者数は、前年比で5～6%伸びてきている。
		都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・宿泊施設の稼働率が上昇し、宿泊単価を引き上げる動きもみられる。
旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・仕事が忙しいという客が増えてきている。		
旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・3か月前に比べて、客の様子が明るくなっている。		
タクシー運転手	単価の動き	・3か月前と比べると、単価が少し良くなった程度である。繁華街で仕事をしているが、人出は少ない。		
美容室（経営者）	お客様の様子	・客にお盆休みの過ごし方を聞くと、旅行に行った人が多い。		

	住宅販売会社 (従業員)	それ以外	・下請業者(特に大工)の仕事量が増えてきており、新規の仕事にかかれないう程になっている。
変わらない	商店街(代表者)	販売量の動き	・例年お盆の時期には、売上が一気に伸びる日があるが、今年はそういった波がない。客の購買意欲はあるが、実際の販売数に結び付いていない。
	商店街(代表者)	販売量の動き	・個人客だけでなく仕事関係の客を全く見かけなくなったのが寂しい。
	一般小売店[高級精肉](企画担当)	販売量の動き	・アベノミクスの効果もやや沈静化し、景気が良いのかどうかわからなくなっている。
	一般小売店[薬局](経営者)	来客数の動き	・全国1、2位の暑さを争う当地では、全般的に景気が落ち込むなかでさらに熱波も影響している。午前中には来客はあるが午後にはバタッと止まってしまい売上が上がらない。どこの店も同じ状況で本当に悪いという嘆きの声ほとんどである。
	一般小売店[時計](経営者)	来客数の動き	・客単価が低い。
	一般小売店[贈答品](経営者)	お客様の様子	・一部の客からは大きな売上があっても多くの客はマイナスで、平均としては同じような感じであるが、見方を変えれば客が二極化している。客の様子をみると、景気の良い会社の贈答需要は増えている一方で、まだまだ不景気な状況の会社では減少しており、二極化がますます進んでいる。
	一般小売店[自然食品](経営者)	販売量の動き	・必要最小限の買物で済ます傾向は変わらず、前年と変わらない。
	百貨店(売場主任)	お客様の様子	・暑さのため秋物の動きが悪い。夏物もセール品で安いからといってまとめ買いはせず、慎重に購入している様子がうかがえる。
	百貨店(経理担当)	販売量の動き	・美術品、宝飾品等の高額商品は、好調に推移しているが、ヤング衣料は不調である。
	百貨店(経理担当)	競争相手の様子	・3か月前に比べて一層の上向き基調とは言い難いが、業界全体の売上を対前年比で見ると、依然、景気は“良い状態”にある。ただし、業界内においては「勝ち組」「負け組」が表れつつあり、一様に良い状態にあるとはいえない。
	百貨店(販売担当)	お客様の様子	・一般消費者からは購買意欲が感じられるが購入には慎重である。高額品ブランドの需要は変わらず好調である。
	百貨店(営業企画担当)	販売量の動き	・数か月前から同様で、高額品の動きが良い一方で、全体の販売数は伸び悩んでいる状態である。一部での景気の良さは変わらないと感じるものの、底上げが進んでいる感覚はない。
	スーパー(経営者)	お客様の様子	・悪い状態で現状も変わっていないが、小売店のなかには前年比を上回るどころも出てきている。
	スーパー(店長)	単価の動き	・1品単価は相変わらずまだ下げ止まっていない。客単価は、1品単価の下落をある程度点数でカバーして、下げ止まっている。今後どうなるかは非常に不透明である。
	スーパー(店長)	単価の動き	・来客数は前年を若干下回っているが、1品単価の上昇によって売上高は前年を上回っている。
	スーパー(店長)	単価の動き	・客単価は前年比98%前後での推移と回復傾向はみられない。第3のビールは特売時に売れ、普段は買い控えられ。米や食品等も、良く売れる価格帯は決まっており、仕入れ値が上がっているにもかかわらず、売価に転嫁できない苦しい状況が続いている。
	スーパー(営業担当)	単価の動き	・1品単価、買上単価は変わらず、まだ景気は上向きとはいえない状況である。
	スーパー(営業企画)	お客様の様子	・お盆期間の客単価、客数、買上点数は前年を上回ったものの、お盆明け後は停滞してきており、月間を通しては、3か月前とあまり変わらない。
	スーパー(商品開発担当)	販売量の動き	・猛暑が続く売上の伸びやすい気候に恵まれたが、食品以外では前年割れが目立っている。ハレの日の動きは良いが、平常の苦戦が目立つ。
	コンビニ(企画担当)	来客数の動き	・天候の割には、動きは緩慢である。
コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・暑かった割には、来客数が回復してこない。	
コンビニ(エリア担当)	それ以外	・猛暑ではあるものの、全体的に客数、客単価は横ばいから減少気味である。	

コンビニ（エリア担当）	競争相手の様子	・競合各社の施策等が類似しており、売上確保に懸命さが感じられる。また、いかに有力なエンターテインメントを確保するかに躍起になっているようにみえる。今後については、本来の客に満足を与えられる商品・接客の提供が最大のポイントと感じる。
コンビニ（店長）	来客数の動き	・1週間の動きでは、週末辺りには多少客が増えるが後は変わっていない。3か月前とほぼ似たような状況である。
家電量販店（店員）	販売量の動き	・猛暑日が続くエアコンや扇風機の売上が伸びている。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・ここ1～2か月は、良くも悪くもなく、上にも下にも行かない状況が続いている。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・前年は補助金もあり販売台数は好調であったが、今年度は前期比80%で推移しており、かなり厳しい状況である。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・8月発表のハイブリッド車の受注が好調に推移し、来客数も増加している。車種に偏りなく販売されると良いが、客のハイブリッド車に対する関心は非常に大きなものを感じる。
乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・異常な暑さとゲリラ豪雨など国民は色々な意味で不安を抱えている。それらも含めて景気が停滞している。
乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・一部の営業所と本社は予算に対して100%を達成したが、他の営業所は予算比60%で推移している。
その他専門店【雑貨】（店員）	お客様の様子	・客が店の様子をよくみている。
その他専門店【貴金属】（営業担当）	販売量の動き	・販売数並びに単価はほぼ変化がない。
その他小売【ショッピングセンター】（営業担当）	単価の動き	・客は値下げをしないと買わない印象である。
一般レストラン（従業員）	お客様の様子	・暑い方が客が来て忙しいはずであるが、客の話では、今年は暑すぎて外に出掛ける気力がなくなるそうである。
スナック（経営者）	来客数の動き	・客からは、お盆休みが長いので家庭での出費が多く交際費まで回すのは厳しいと聞いており、期待ができない。
その他飲食【仕出し】（経営者）	販売量の動き	・猛暑で食品の購買意欲は減退している感じである。
観光型ホテル（販売担当）	来客数の動き	・月初めに立てた宿泊者数の予想をかなり下回る結果となりそうである。インパウンドも同様であるが国内団体客も当初予約の人数からかなり変わってくる。3か月前とは客層が違っても、催行間際の対応が難しいことには変わらない。
旅行代理店（経営者）	それ以外	・タクシー運転手の話では、輸出が増えても物価が上がり、利用客が増える感じではない。閑散期と繁忙期の差がなくなっていて、総じて経済の縮小が実感される。
旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・秋冬の新規旅行予約が苦戦している。一般層では、検討している様子はあっても費用を安く抑えたい価格重視の傾向がある。ハネムーン層やビジネス層しか動いていない。
旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・お盆前後から海外からの客が増えてきている。しかし、それまでの落ち込みをカバーするまでには至っていない。
タクシー運転手	お客様の様子	・今月は暑く、お盆頃までは旅行やスポーツ関係の色々な動きがあり客は順調に多かったが、お盆で出費がかさんだためか、お盆過ぎから夜の客が少ない。週末も雨の予想で皆早く帰り、街に人が少なくなっている。
通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・新しく期間限定割引サービスが始まったことにより、光回線の新規申込が増えている。
テーマパーク（経営企画担当）	来客数の動き	・猛暑にもかかわらず前年と同様に推移している。

	観光名所（案内係）	お客様の様子	・今まで千円使っていた人は800円、800円使っていた人は500円というように、とにかく金を使わなくなっている。
	ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・8月の入場者数は、予算よりは少し良く、前年比では少し悪いという状況である。一方で、売上は、予算を下回っているが、前年よりは少し良くなっている。現時点の実績では、良くもなく悪くもなしというところである。
	美顔美容室（経営者）	販売量の動き	・ホームケアセットのキャンペーンが始まり、セット商品を購入する客が多い。
	設計事務所（職員）	お客様の様子	・客や現場からは、景気の良い話は聞かない。
	その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（経営者）	お客様の様子	・一時的な駆け込み要素の強い客が多かったが、既にそれもあまり感じられない。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	単価の動き	・連日の酷暑で、景気には関係なく和菓子業界は全体的にダウンである。8月帰省時に迎える繁忙期において主力商品の売れ方をみると、前年同月比で小口（6個入）の商品の売上は増加しているが、数量の多い（10個入）商品は大幅な減少である。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・従来から暑い時期は動きが悪いので、別段の驚きはないが、それでも例年と比較すればやや低迷している。
	一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・毎年お盆明けは客が少なくなるが、猛暑の影響もあって今年はそれが顕著である。この暑さでは花を買う気にはならないのかもしれない。
	一般小売店〔食品〕（経営者）	来客数の動き	・連日の猛暑で来客数は前年に比べて大きく下回っている。売上も前年同月比で5%減の見通しである。8月に限っては、この猛暑の影響で景気が悪いといえる。
	一般小売店〔酒類〕（経営者）	来客数の動き	・お盆を過ぎてから、飲食店への来店が急速に鈍くなっている。
	一般小売店〔書店〕（経営者）	販売量の動き	・中古品のリサイクル業が飽きられてきたのか、以前のような力強さがなくなってきた。ずっと期待感を持っているが、売上が伸びず厳しい状態が続いている。
	百貨店（経理担当）	来客数の動き	・8月に入ってから来客数の落ち込みが激しい。暑さのせいもあると思うが、消費税増税等の報道が多くなっているため、先行きの不透明感から様子見という状態に感じる。
	スーパー（店長）	販売量の動き	・売上の前年比100%を達成するため、先月より特売価格の強化など販促活動を行っているが、現時点で99%となかなか達成できない。猛暑だった影響でパンや菓子等の売上の落ち込みも大きい。
	スーパー（店員）	単価の動き	・猛暑の影響で昼から夕方にかけての来客数がかなり減少している。お盆の帰省時の贈答果物も、予想した売上よりも動きが鈍く、悪いと感じている。
	スーパー（店員）	来客数の動き	・近くに競合店ができたこともあり、売上は若干減っている。
	スーパー（販売促進担当）	来客数の動き	・近傍に競合店が出店して客足が落ちている。客単価は前年比102%と上がっているが、売上、来客数は前年比で各95%、93%と今月も苦戦している。
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数の落ち込みが目立つ。競争店ができて落ち込むならばわかるが、環境は変わらず天気も良かったにもかかわらず、落ち込んでいる。
	コンビニ（店長）	販売量の動き	・暑すぎて昼間の客足が鈍くなったためか、飲料水の売上が良くない。
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・猛暑で客がほとんどなく、開店休業状態である。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・来客数は前年並みで推移しているが、成約率は逆に悪くなっている。車検を受けてもらえる場合も、値段の安い店で見積をとってから相談にくるので、その金額に合わさなければならず、全体的な収益としては厳しい。
高級レストラン（役員）	来客数の動き	・前年と比較してお盆休みの客足が低調である。来客数の減少とともに客単価も前年を下回っている。酷暑の影響か、出控えの様子がうかがわれる。	
一般レストラン（経営者）	それ以外	・洋酒を取り扱っているが、ここ最近すべての商品で価格が上がっている。	

	スナック（経営者）	来客数の動き	・ガソリンや輸入品の物価は上がっているが、賃金には反映されていない。大型連休の企業も多く、レジャー代等に流れており、繁華街は人通りも少なく閑散とし、売上は前年より1割ほど下がっている。	
	都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・繁忙と閑散の差が大きくなっている。	
	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・8月以降の新規受注件数が減ってきている。アベノミクスの効果が薄れているように思われる。	
	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・円安の進展で海外旅行は代金が上がり、お買得感がなくなったため、旅行需要は減ってきている。申込件数、旅行相談件数ともに減少傾向である。中国ツアーは皆無に近い状況、韓国も前年比50%程度である。国内旅行は、国内有数のテーマパークや東京の新名所、式年遷宮を迎える観光地は好調であるが、その他の地域は、横ばいか減少気味である。	
	通信会社（企画担当）	販売量の動き	・他社との競争の激化もあるが、当社が提供する毎月費用のかかるサービスに対しては、節約ムードがあるように感じる。	
	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・廃止又は切替による需要が多く、純増につながっていない。	
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・天候には恵まれたものの集客数は伸びず、余暇への支出が抑え気味と感じる。	
	テーマパーク（職員）	お客様の様子	・外国人は増えているが、日本人や団体客は少ない。	
	パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数の動きがあまり良くない。	
	理美容室（経営者）	来客数の動き	・今月はお盆があって繁忙期のはずであるが、あまり客は来ていない。	
	その他サービス〔語学学校〕（経営者）	来客数の動き	・例年にない猛暑のため、出席者数が減少している。	
	住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・消費税を気にして動いていた人の需要は、消費税の区切り目である9月を前にして、既に終了した感がある。	
	その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	販売量の動き	・消費マインドは上がっているものの、まだまだ慎重で様子見が続いており、契約件数は伸びていない。経済の活性化に期待する。	
	悪くなっている	美容室（経営者）	お客様の様子	・8月は酷暑で、午前中は客が来るが昼からは暑さで出てきてもらえず、客の入りが悪い。
		理容室（経営者）	お客様の様子	・相変わらず安い店に流れていく。
		住宅販売会社（経営者）	競争相手の様子	・売行きが悪い。広告を出しても反応が少ない。同業者も同じ様子である。
企業動向関連（東海）	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	食料品製造業（経営企画担当）	それ以外	・地元は20年に一度の大イベントが開催され、県内外から多くの人々が来ている。観光、サービス業関係の盛り上がりは大きく、狭いエリアではあるが、多大な経済効果がある。
		電気機械器具製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・年末商戦に向けた輸出が好調に推移しており、前期比でみても今年度は成長が見込まれる。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	取引先の様子	・客先の設備投資が増えているように感じる。
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	完成車メーカーが自動車の生産を海外を中心に増産しており、それに伴って部品の発注数量が4月から7月にかけて20%ほど伸びている。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・輸出貨物は増加している。
		輸送業（エリア担当）	受注価格や販売価格の動き	・売上を前年比較でみると、前年はマイナス5.0%であったが、今年は1.3%のプラスと6.3ポイント良くなっている。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・発送便、到着便ともに、順調に伸びている。
		金融業（法人営業担当）	取引先の様子	・取引先自動車部品メーカーの稼働率が総じて上がっている。
		企業広告制作業（経営者）	それ以外	・やや停滞ムードといった印象だが、この時期では仕方がない。しかしムード全体は好転しており、秋に新製品が出れば飛びつく人は多いはずである。

変わらない	公認会計士	それ以外	・会計事務所の顧客である中小企業のなかには、業績が向上している企業がある。
	会計事務所（社会保険労務士）	取引先の様子	・黒字決算の会社が多くなってきている。
	化学工業（総務秘書）	それ以外	・しばらく景気が上向きという感触を取引先や各種小売店・飲食店等で感じてきたが、ここ3か月はそれが一層上向いたという感触はない。しかし、後退もしていない。
	化学工業（人事担当）	それ以外	・地元では自動車産業に従事する人が多く、給与が上がって景気は少し良くなっているが、他の業種をみれば、まだまだ景気は横ばい状態である。
	鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・景気指標等は上がっているものの、受注量・販売量とも前月から上がっていない。仕入れ単価だけは円安や原料高で5%以上上昇しているため、粗利だけが大幅に下がっていく。
	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・販売量がほぼ横ばいである。
	金属製品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・先行きのプロジェクトは動いているが、足元の物件の動きがわからない。見積件数の増加がある一方、実際の発注はさほど増えている感じがしない。
	一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・急激な円安に伴う特需状態が落ち着き始めている。大手EMS（電子機器受託製造サービス）ユーザーの設備更新も一段落したため、北米・南米・アジアなどの地域でも受注金額が伸び悩んでいる。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今月はパチンコホール関係の取引先の設備投資が少なかったため、受注量が少ない。
	電気機械器具製造業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・若干円高傾向となって注文も若干控え気味となっている。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・住宅の販売はおおむね好調である。ただ、建築費が高騰（ケースバイケースで場合によっては20%位上昇）していて、今後の事業計画推進において大きな阻害要因となっている。
	建設業（営業担当）	取引先の様子	・ここ最近、大型店舗における下水道への切替えの話が出てきている。
	輸送業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・国内日用品の単価は下落が止まり、物量も安定的に推移している。新興国への設備投資関連輸出入も報道でいわれるほどの落ち込みは感じない。
	輸送業（エリア担当）	それ以外	・販売業者7～8社で軽油の価格競争を行っているが、ここ半年くらいは各石油販売店が、軽油を含めて油が売れないという話をしている。産業界は軽油・重油を使わない、ハイブリット車が台頭して一般消費者がガソリンを消費しない、などといった要因を差し引いても、油が売れない。
	通信会社（法人営業担当）	取引先の様子	・円安、株価高は一時休止といった感じである。来春には消費税増税を控え、今一つ景気に回復感がない。
	金融業（従業員）	取引先の様子	・決算月を迎える会社では、以前よりも利益が出ているという話を聞く。自動車産業は大体良い動きであるが、中小企業では、悪くはないが良いというほどではない。
	不動産業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・アベノミクス効果は現場にはいまだみられず、為替レートの効果も一時的なもので、実体経済には波及していない。
	不動産業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・マンション販売センターへの問い合わせ数、来場数が増加している。優良物件については動きが良い。
	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・ここ数か月は、事務所の引き合いが変わらない。
	広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・少ない予算の提案物件でも競合が多く、受注が決まっても薄利のものが多いため、トータルではあまり変わっていない。
新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・折込広告は、サービス業では前年を上回ったが流通は10%以上減少し、全体では4%の減少となっている。	
行政書士	受注量や販売量の動き	・貨物の動きが変わらない。	
経営コンサルタント	取引先の様子	・消費税の増税目前で、住宅取得の動きがまだ続いているようだが、所得水準は上がっていないため、効果は一時的である。	
その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	受注量や販売量の動き	・受注のためのコンペで連敗している。原因は金額面のみで、取引先では技術評価より金額基準のみで判断しているようである。	

	その他サービス業〔広告印刷〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・期待感はあるが、景気回復の動きはあまりない。	
	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	取引先の様子	・相変わらず繁忙が続き、納期の遅延が起こっている。このような状態は久しぶりで、各社とも前向きに取り組んでいる。この状態があと半年続けば、給与も上げることができる。	
やや悪くなっている	紙加工品〔段ボール〕製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・段ボール箱など梱包資材の受注量は前年比マイナスである。同じ圏域の同業者の状況も同じくマイナス傾向であることから、業界の景気も下向きである。	
	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量が3か月前に比べて5～8%減少しているに加え、原材料の値上げがあっても製品への転嫁が難しく、採算が取れない。	
	出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・飲食店の広告掲載効果が上がらない。	
	窯業・土石製品製造業（社員）	受注量や販売量の動き	・前年度、1品種で当社の売上の25%を占めていた製品がアメリカ製にほとんど切り替わってしまい、売上が回復しない。対抗して試作品を出しているが、受注に結び付いていない。	
	電気機械器具製造業	受注価格や販売価格の動き	・通信業界では、新たな設備投資が増えていることは事実であるが、獲得競争の激化がみられ、発注側も厳しい条件を提示するので、受注増、売上高増となっても、利益拡大には繋がらない。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ここ3か月くらいは徐々に回復傾向にあったが、8月は1割程度減少している。	
	金融業（企画担当）	取引先の様子	・前年来の株高、円安により個人保有の資産価値が上昇し、消費にも繋がっていたが、ここへ来てそれも停滞し、個人の消費の動きが鈍くなってきている。	
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・暦の関係でお盆休みが長期化したこと、猛暑が続いたことなどにより、製造、建設需要が減少傾向にある。株価は横ばい、ガソリン等は高値安定で、景気回復への原動力に欠けている。成長戦略も案件だけで実行性が乏しい。	
悪くなっている				
雇用関連 (東海)	良く なっている	人材派遣会社（経営企画）	採用者数の動き	・エンジニア市場は依然として需要が強く、供給面（人材獲得競争）では厳しい状況が続いている。
	やや良く なっている	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・求職の登録者数が少し減少傾向にある。
		人材派遣会社（社員）	それ以外	・派遣法改正の動き、「今後の労働者派遣制度の在り方に関する研究会」の動向が影響する。
		人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・8月の求人数が、前年比で20%、3か月前比で40%の増加となるなど顕著な回復が見られる。特に、テレマーケティング関連の求人が伸びている。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	求人数の動き	・国内の新車販売台数は前年比で減少であるが、為替が円安傾向に進み、輸出台数の増加による生産増加に伴い、求人数は上向き傾向である。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・ほとんどの業種で、前年同月と比べ新規求人の増加がみられる。一方で新規求職は減少を続けている状態である。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は増加しているが、製造業関連は横ばいである。新規求職者については横ばいから若干の減少で、有効求人倍率が改善してきている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が増加しており、有効求人倍率も上昇している。ただし、製造業においてはまだ求人が少ないので、本格的に良くなってきているとは言い難い。
		民間職業紹介機関（営業担当）	周辺企業の様子	・取引関係にある企業、外郭団体、官公庁とのやり取りでは、景気が上向きで、事業拡大や増員等という声が、以前に比べて増加している。
変わらない	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・求人をしていても人がほとんど集まらない。集まったとしても年齢が高く人材派遣には向かない、という状態が続いている。	
	人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・客からの引き合い数は伸びていないが、落ち込んでいないため、横ばいと感じる。	
	人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・株価は13,000円台で伸び悩んでおり、生活者レベルではアベノミクスの効果を感じられない。	
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	周辺企業の様子	・企業の設備投資の動きはみられず、求人需要も低調である。	

	新聞社 [ 求人広告 ] ( 営業担当 )	雇用形態の様子	・有効求人倍率は、非正規労働者の求人増加で上がっている。好況感の一部の大手企業に留まっているため、波及効果はみられず、特に中小企業からは全く感じられない。
	民間職業紹介機関 ( 営業担当 )	求職者数の動き	・前月に引き続き求人件数は徐々に上向いているものの、求職者の動きは前年とさほど変わらない。転職に際しては、依然として慎重な姿勢がみられる。
やや悪くなっている	人材派遣会社 ( 社員 )	求人数の動き	・先月と同様、2～3か月前より悪く、例年に比べても良くない。
	職業安定所 ( 職員 )	求人数の動き	・求人数、求人倍率は、障害者の雇用率改定、消費税増税に伴う駆け込み需要などの特殊要因で実態以上に跳ね上がってしまっている。その傍らで小規模事業所の廃業、倒産が増加している。
	その他雇用 [ 広告代理店 ] ( 求人広告担当 )	雇用形態の様子	・以前と変わらず、社員の募集でも、短期の契約社員等の募集が多かったり、正社員であっても募集人員数はわずかな場合がある。
悪くなっている	-	-	-